

全国高校生まちづくりサミット in 関

3月9日(土) 10:00~16:00

わかくさ・プラザ 多目的ホール

今年度、VSプロジェクトの大規模イベントとして、全国でまちづくり活動を実践する高校生団体を招待する「**全国高校生まちづくりサミット in 関**」を開催しました。

このサミットは、これまでに福井県鯖江市、静岡県島田市を会場として開催されており、関市での開催は3回目となります。

今回、ホストとして市外の高校生を迎え入れるのに、このイベントをどんな場所にしたのか、そのためにどんなおもてなしができるのか、メンバーと一緒に“**関市らしさ**” “**VSプロジェクトらしさ**”をテーマに、2つの準備を進めました。

① 高校生サミット 交流ワーク企画案審査会

午後からの高校生同士の交流ワークをどんなものにしたのか、その企画案を事務局が作成し、高校生に対してプレゼンをしました。



これがやりたいです！

<高校生が作った採点基準>

- ①参加者が楽しめるか
- ②仲良くなれるか
- ③オリジナリティ（関市らしさ）
- ④わかりやすさ
- ⑤自分のプラスになるか

100点満点での採点、2分間のプレゼンのあとは高校生からの質疑応答が行われました。



②そもそも活動報告って・・・

午前中に行われる各団体の「活動報告」について、限られた 15 分の中で、そもそも何を伝えたいのか、どんな時間にしたいのかをメンバーで話し合いました。



その中で伝えたいこと、順番、時間配分も決めていきました。ただ自分たちの活動を報告する場にするのではなく、「自分にとって、これからの VS にとって何か刺激になるような場にできたらいいことばかりじゃん」とメンバーで気持ちを共有しました。

全国高校生まちづくりサミット in 関 当日！

今回は、市外から**鯖江市役所 JK 課（福井県鯖江市）**、**静岡県立島田商業高校（静岡県島田市）**、**地域活性化スクール若者未来創造部（岐阜県美濃加茂市）**、市内から**高校ふうめらん**、**VS プロジェクト**、計 5 団体のべ 37 名の参加となりました。

まず、午前中の活動報告では、各団体 15 分の発表を受け、感想や質問をふせんにかき出しました。今回、関市内で活動する市民ファシリテーターの**杉戸美月**さん、**林加奈**さんのお 2 人に協力いただき、発表中の様子を**グラフィックレコーディング**の手法を用いて、“見える化”していただきました。



VSプロジェクトの発表では、メンバー一人ひとりの1年間の活動を通した「変化」にスポットをあてて、**VStory**を作成。そこから見たVSプロジェクトと自分自身のこれからを話してもらいました。



午後からは、交流ワーク「**関市体験型リアルすごろくゲーム**」を実施しました。

テーマはあそびとまなび。会場にかたどられた巨大な関市のマップを舞台に、関市に関するミッションに挑戦し、その獲得ポイントで競い合います。チームは団体ごちゃまぜにし、ゲームを通して交流を深め、さらには関市を楽しみながら知ってもらう時間になりました。

はもみんふくわらい



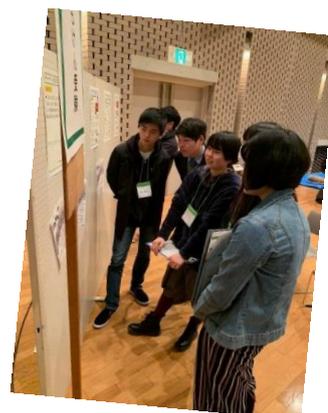
馬子にも鶴匠



高賀の森水飲み比べ
チャレンジ



はもけん受験



メンバー自身にとっても、自分の地域のことを他の人に発信する機会になり、また「住んでいるけど知らなかった」と新たな発見があったみたいで、学びの部分も意識できた時間となりました。



今回のサミットを通して、**同世代の高校生から受ける刺激や気づき**がメンバーにとって大きなものなのだなと改めて感じました。

普段、活動をする地域は違えど、同じ高校生として地域を盛り上げていく仲間として、これからもお互いのことを知って、交流していきたいです。

関市に来て下さった皆さん、ありがとうございました！

